

令和 7 年度宮城県キャリアパス支援事業研修概要

1. 受講対象及び目的

- 研修方式：対面（集合）研修、オンライン研修（WEB）※要選択

A基礎研修…対象：おおよそ 3 年未満の初任者用研修

【無資格者～初任者研修修了者向け研修】No.1～11

▷目的

ご利用者様の生命（いのち）と生活に直接関わる介護の仕事を理解し、実践のための態度や基礎的知識・技術を身につけることを目的とする。介護職としての土台作りとなる研修。

B基本研修…中堅職員、リーダー養成研修 No.12～15

C専門研修…中堅職員、リーダー養成研修 No.16～19

D専門研修…中堅職員、リーダー養成研修 No.20～23

※【実務者研修修了者、介護福祉士対象】 No.12～24

▷目的

介護の基礎的理解と実践を踏まえて、介護チームの中核を担うリーダーとして成長、育成を目指す研修。単に自身が実践できるだけでなくチームのメンバーや後進の育成、運営責任者としてより良い介護実践・運営をできることを目的とする。

D管理者研修…施設管理者候補、施設管理初任者 No.24

▷目的 施設運営責任者としての必要な知識と技術を習得する。

E在宅対象…サービス提供責任者、訪問介護員 No.25～29

▷目的 訪問介護における訪問介護員・サービス提供責任者としての必要な知識と技術を習得する。

Fナイト講座…中堅・管理者養成研修 No.30～35

▷目的 中堅職員等としてのスキル、実践力向上を目指す講座。

2. 研修日程・形式・めあて・研修内容

【基礎研修】

No.1 介護の基本 I～介護職の基本～

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長 雯石 理枝 氏

○対面研修 A01-1：12月4日（木）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F
A01-2：8月14日（木）10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

○オンライン研修 A01-3：令和8年2月5日（木）13時～17時 ※接遇除外

- ① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）、オンライン研修（4時間）
- ② めあて：介護の仕事（対人援助）を理解するとともに、職業倫理を踏まえての実践の在り方を習得。また、自立支援の根幹をなす介護保険制度はじめ関係法令等の解説と介護専門職の役割を理解し実践できることを目的とする。対人援助をおこなう介護サービス従事者としての接遇の基本を学び、身につける。
- ③ 主な内容
 - 1) 介護の仕事とは
 - 2) 尊厳ある介護と職業倫理
 - 3) 介護現場における接遇 ほか

No.2 介護の基本Ⅱ～介護技術～

講師：仙台総合医療大学校 吉田 望 氏ほか

○対面研修 A02-1：8月28日（木）10時～16時 ベルジエ・シー・アイ（富谷市予定）
A02-2：11月29日（土）10時～16時 仙台総合医療大学校

- ① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）
※上履き（スニーカー等）動きやすい服装
- ② めあて：からだのしくみを理解し、利用者との信頼関係を踏まえて安全で安楽な介助の基本を習得できることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 介護技術の基礎的理解
 - 2) ボディメカニクスと支援
 - 3) 基本動作と個別支援（講義・実技）
- ④ その他 会場駐車場利用をする場合、必ず申込の際にその旨をお伝え願います。

No.3 障害の理解・高齢者虐待防止～自立支援・尊厳ある介護のために～

講師：特別養護老人ホーム大年寺山ジェロントピア 施設長 今出川 武志 氏

○対面研修 A03-1：7月31日（木）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F
A03-2：9月9日（火）10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

- オンライン研修 A03-3：令和8年1月15日（木）10時～16時
- ① 形式：対面研修・オンライン研修 講義・演習（5時間）
- ② めあて：障害の基礎的理解と支援を学ぶ。高齢者虐待防止・身体拘束禁止の制度の理解と尊厳ある介護を学ぶ。利用者が生活の主体者であり、人生の主人公であることを理解し、実践することによりQOL（生活の質）が高められていくことを理解し実践できることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 障害の基礎的理解
 - 2) 虐待防止・身体的拘束禁止
 - 3) 自立支援

No.4 利用者理解とコミュニケーション

講師：特別養護老人ホーム大年寺山ジェロントピア 施設長 今出川 武志 氏

○対面研修 A04-1：8月5日（火） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

A04-2：11月11日（火） 10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

A04-3：令和8年1月13日（火） 10時～16時 岩沼市中央公民館2F

① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）

② めあて：介護支援の基本となるコミュニケーションの基本的理解、対人援助技術を身に着け適切なケアが実践できることを目指し、尊厳ある介護を実現していくことを目的とする。

③ 主な内容

1) コミュニケーションの意義・目的

2) 利用者理解と支援

3) 対人援助技術の基本

No.5 他職種の理解と連携

講師：特別養護老人ホームまほろばの里たいわ 施設長 高橋 泰徳 氏

○対面研修 A05-1：7月30日（水） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

A05-2：11月13日（木） 10時～16時 気仙沼市民会館

○オンライン研修 A05-3：令和8年2月17日（火） 10時～16時

① 形式：対面研修・オンライン研修 講義・演習（5時間）

② めあて：利用者の生活を継続していくためには、介護チームで支援していくことが必要である。本研修では、介護チームの理解とともに、介護職以外の他職種を理解し、利用者を中心とした関わる職種との連携・協働を学び実践することを目的とする。

③ 主な内容

1) 連携・協働の基礎的理解

2) メンバーシップ

3) 他職種の理解・連携・協働

No.6 記録の要点とチームケア

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長 雯石 理枝 氏

○対面研修 A06-1：9月12日（金） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

A06-2：令和8年1月23日（金） 10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）

② めあて：形のない“行為”である介護は、サービス提供事実が分かりにくい。ケアの証等として、記録の意義・目的を確認するとともに、記録の要点を学ぶ。

記録が介護実践にどのように展開されることが望ましいのか、演習を通して介護実践に繋げることを目的とする。

③ 主な内容

- 1) 記録の意義・目的
- 2) 記録の書き方①基本
- 3) 記録とチームケアの展開

No.7 認知症の基礎的理解と支援の基本

講師：アクアビット・ファクトリー(株) 代表取締役兼CEO 蓬田 裕樹 氏

○対面研修 A07-1：7月 24日（木） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター 6F
A07-2：10月 8日（水） 10時～16時 岩沼市中央公民館 2F

① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）

② めあて：認知症ケアの基礎的な知識及び技術を修得するための研修。認知症高齢者に対する理解を深め認知症ケアのスキル習得を図ることを目的とする。

③ 主な内容

- 1) 認知症の基礎的理解
- 2) 支援の基本
- 3) 認知症ケア実践上の留意点など

No.8 介護現場における医学的基礎知識 I

講師：保健師・看護師 野中 栄子 氏（居宅介護支援事業所とこはな 管理者）

○対面研修 A08-1：8月 19日（火） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター 6F
A08-2：11月 20日（木） 10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

○オンライン研修 A08-3：令和8年1月 14日（水） 10時～16時

① 形式：対面研修・オンライン研修 講義・演習（5時間）
② めあて：利用者の生命（いのち）と生活に関わる介護支援を行う上で、高齢者の特性や疾病を理解し、実践のための基礎的知識を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

- 1) 高齢者の特性と疾病の理解
- 2) 医学的知識と支援の要点
- 3) 緊急時対応ほか

No.9 介護現場における医学的基礎知識 II

① 薬の知識と服薬支援

講師：薬剤師 高橋 康晃 氏

○対面研修 A09-1：9月 19日（金） 10時～12時 仙台市市民活動サポートセンター 6F

○オンライン研修 A09-2：令和8年1月 9日（金） 13時30分～15時30分

① 形式：対面研修・オンライン研修（2時間）
② めあて：介護現場において必要な薬の基礎的知識を身につけ、適切な服薬支援ができる。

③ 主な内容

- 1) 薬の知識と基礎的理解

No.10 新入介護職とメンタルヘルス～セルフケアの実践～

講師：東北医科薬科大学 准教授 森本 幸子 氏

○対面研修 A10-1：8月21日（木）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

① 形 式：対面研修 講義・演習（5時間）

② めあて：対人援助職としての介護職は利用者と自身の感情を扱う仕事である。新入職員として自身の健康を保ち、利用者本位の適切な支援をするためにメンタルヘルスの理解を深め、やりがいと充実した実践に繋げられることを目的とする。

③ 主な内容

- 1) メンタルヘルスの基本
- 2) 対人援助職としてのセルフケアの基本（講義・演習）

No.11 実践事例から学ぶ介護実践I～全2日間～

講師：聖和学園短期大学 東海林 初枝 氏

1日目：10月10日（金）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター4F

2日目：10月17日（金）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター4F

① 形 式：対面研修 講義・演習（各5時間合計10時間）

② めあて：尊厳ある介護と自立支援を行う上で、根拠ある実践が介護専門職として必要である。本研修は、ケアが場当たり的や経験値だけにたよるものではなく、支援内容や方法の根拠を基に方向性を共有することの理解、介護チームとして実践できることを目的とする。

③ 主な内容

1日目：介護過程の基礎的理解（講義・演習）

- 1) 介護過程とは
- 2) 情報収集とアセスメント
- 3) 予測と計画の立案
- 4) 実施・評価

2日目：個別援助計画の立案とチームケア（講義・演習）

- 1) 介護過程の展開
- 2) 個別援助計画の立案
- 3) 計画の共有とチームケアほか

【基本研修】

No.12 医学的知識とフィジカルアセスメント

講師：保健師・看護師 野中 栄子 氏（居宅介護支援事業所とこはな 管理者）

○対面研修 B01-1：9月25日（木）10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

B01-2 : 11月5日（金） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

○オンライン研修 B08-3 : 令和8年2月18日（水）10時～16時

- ① 形式：対面研修・オンライン研修 講義・演習（5時間）
- ② めあて：介護現場に必要な医学的知識を踏まえ、利用者のQOL（生活の質）を高める支援に結びつけていくことが肝要である。本研修では、利用者のフィジカルアセスメントの基本や要点を学び、利用者の生活課題解決に向けて他職種連携・協働できることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) フィジカルアセスメントとは
 - 2) 高齢者の特性とアセスメント
 - 3) 個別ケアと多職種連携の要点ほか

No.13 多職種との連携・協働

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会

○対面研修 B02-1 : 8月29日（金） 13時～16時 戦災復興記念館4F

B02-2 : 12月12日（金） 13時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

- ① 形式：対面研修 講義・グループワーク（3時間）
- ② めあて：利用者等の状態像の複雑化、医療依存度が増している介護現場にあって関わる専門職が複数でチームを組んでいる。利用者のQOLを高め全人的に支援するためには、方向性を一にしての多職種連携は必要不可欠と言える。本研修は、それぞれの専門性の違いを理解しつつ、利用者が尊厳を保持し自立した日常生活を継続できる支援を展開することを目的とする。
- ③ 主な内容：利用者のために連携・協働について必要な要点を各専門職の視点と事例から考える。（講義・ワークショップ）

No.14 高次脳機能障害の理解と支援

講師：宮城県言語聴覚士会 会長 遠藤 佳子 氏

○対面研修 B03-1 : 9月4日（木） 10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

B03-2 : 10月3日（金） 10時～16時 マルホンまきあーとテラス（石巻市）

○オンライン研修 B03-3 : 令和8年1月22日（木）10時～16時

- ① 形式：対面研修・オンライン研修 講義・演習（5時間）
- ② めあて：高次脳機能障害とは、大脑が損傷を受けて生じた認知機能障害の総称であり、高次脳機能障害という一つの障害があるのではない。本研修は、失語、失行をはじめとする様々な障害の中から、主な4つの病態を解説し支援の視点を学び、適切な介護実践に結びつけられることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 高次脳機能障害とは
 - 1) 注意障害の理解と支援の視点
 - 2) 遂行機能障害の理解と支援の視点

- 3) 記憶障害の理解と支援の視点
- 4) 失語症の理解と支援の視点

No.15 実践事例から学ぶ介護実践Ⅱ～全2日間・個別受講可～

講師：特別養護老人ホームまほろばの里向山 施設長 松野 一江 氏

1日目：11月14日（金）10時～16時30分 仙台市市民活動サポートセンター4F

2日目：11月28日（金）10時～16時30分 仙台市市民活動サポートセンター4F

- ① 形式：対面研修 B04-1・2 講義・演習（各5.5時間合計11時間）
- ② めあて：本研修は、介護過程の展開の基本を踏まえて、中堅職員及びリーダーとして必要な具体的介護実践に結びつけるために、事例検討を中心としたアセスメントと個別援助計画作成、実践を通しての評価・再アセスメントを学び、利用者の立場に立った自立支援をチームで行えることを目的とする。
- ③ 主な内容：事例による介護過程の展開（講義・演習）

【専門研修】

No.16 個別援助計画とレクリエーション

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

○対面研修 C01-1：11月21日（金）10時～16時 仙台市戦災復興記念館5F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）
- ② めあて：介護サービスの質の向上を図る観点から、LIFE（科学的介護情報システム）の運用が始まっている。本研修では、通所介護における個別援助計画の事例をもとにアセスメントの取り組みを通してケアプラン上の位置づけと支援を学ぶ。また、利用者の日常生活を自立に向けた個別援助計画への適切な反映と実践を結びつけられることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 個別援助計画とケアプランの理解
 - 2) レクリエーションの意義と目的
 - 3) アセスメント・個別援助計画

No.17 認知症ケアの理解と実践Ⅰ

講師：認知症対応型通所介護ほっと 所長 コッシュ石井 美千代 氏

○対面研修 C02-1：8月7日（木）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（グループワーク）5時間
- ② めあて：基礎的理解を踏まえて、実践事例を通じ、中堅職員として尊厳ある介護実践に繋げていける知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、症状の特徴を踏まえた上で、個別性を理解できるように具体的なアセスメントの要点を整理していく。
- ③ 主な内容：認知症支援とチームケアの基本及び展開方法を学ぶ（講義・演習）

No.18 認知症ケアの理解と実践Ⅱ～生きてて良かったを支える仕事～

講師：認知症対応型通所介護ほっと 所長 コッショウ石井 美千代 氏

○対面研修 C03-1：11月7日（金）10時～16時 東京エレクトロンホール宮城6F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（グループワーク）5時間
- ② めあて：実践事例から認知症ケアの理解を深め、適切なアセスメントを通じケアチームとしてより良い実践に結び付けられることを目的とする。
- ③ 主な内容：実践事例、認知症ケアの実際（講義・演習）

No.19 新人職員育成のための講座

講師：株式会社未来企画 執行役員 片山 智美 氏

○対面研修 C04-1：10月23日（木）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

- ① 形式：対面研修 講義・演習 5時間
- ② めあて：身近な先輩としての在り方や新人職員への関わり方など、先輩職員として基本となる知識と技術を身につけ、新人職員と共にやりがいと魅力ある介護実践に繋げられることを目的とする。
- ③ 主な内容：先輩職員としての後輩に対しての動機付け、ティーチングほか（講義・演習）

No.20 指導者のための介護技術

講師：仙台総合医療大学校 吉田 望 氏ほか

○対面研修 D01-1：12月11日（木）10時～16時 聖和学園短期大学 介護実習室

- ① 形式：対面研修 講義・演習 5時間
- ② めあて：中堅職員としてケアチームを率いる上での介護技術指導方法のための知識・技術を身につける。新人職員等への介護技術指導の要点を理解することを目的とする。
- ③ 主な内容：
 - 1) 利用者の状態像等に合わせた支援を指導するための要点
 - 2) 後輩・部下への助言や指導方法など（講義・実技）

No.21 リーダーのための指導術

講師：東京工芸大学 教授 大島 武 氏

○対面研修 D02-1：9月17日（水）10時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

D02-2：令和8年1月21日（水）10時～16時

仙台市市民活動サポートセンター6F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（グループワーク）6時間
- ② めあて：チームアプローチをする上で、メンバー同士の意思の疎通を図ることは大事な要素である。伝えたつもり、聞いたつもりの認識の誤差が結果として現れることも留意しなくてはならない。本研修では、リーダーとして必要なコミュニケーション技術を身につけるとともに、目標達成のためのチームづくりの要点を学んでいく。
- ③ 主な内容

- 1) コミュニケーションスキル
- 2) リーダーとしての関わり

No.22 セーフティマネジメント～身体拘束・高齢者虐待防止～

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長 霧石 理枝 氏

○対面研修 D03-1

10月30日（木）13時30分～16時30分 仙台市市民活動サポートセンター6F

○オンライン研修 D03-2：令和8年2月6日（金）13時30分～16時30分

- ① 形式：対面研修、オンライン研修 講義・演習（3時間）
- ② めあて：介護保険施設における事故発生の防止と発生時の適切な対応を推進する観点から、リスクマネジメントの強化がなされ基準が示されている。本研修は、利用者の自己実現と安全の確保について学び、ヒヤリハットから重大事故防止をするための職場環境づくりを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) セーフティマネジメントとは
 - 2) リスクマネジメントとは
 - 3) 介護現場における安全確保と支援

No.23 職場環境とメンタルヘルス

講師：東北医科大学 准教授 森本 幸子 氏

○対面研修 D04-1：令和8年2月13日（金）10時～16時

仙台市市民活動サポートセンター6F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（5時間）
- ② めあて：対人援助職としての介護職員は、倫理的介護実践を求められるが、あるべき姿と実際に差が生じ苦しみ葛藤する場面がある。さらに、従事する上でチームアプローチを実践する上で人間関係が課題とされる。本研修では、中堅職員としてリーダーとしてセルフケア、ストレスマネジメントについての知識・技術を身につけ、やりがいや充実の中で自己実現をしより良い職場環境を整えられることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) リーダーとしての職場環境づくり
 - 2) メンタルヘルスの知識と対処方法

【管理者研修】

No.24 介護施設管理者講座～全2日間～

講師：宮城県老人福祉施設協議会 副会長 土井 孝博 氏

仙台市老人福祉施設協議会 会長 高田 洋樹 氏 ほか

1日目：令和8年2月20日（金）10時～17時 仙台市市民活動サポートセンター6F

2日目：令和8年3月5日（木）13時～17時 仙台市市民活動サポートセンター6F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（合計 10 時間）
- ② めあて：管理者として必要な関係法令及び責務と業務を理解する。サービス提供事業者としてサービスの質を担保し、適切な運営管理の実務を担えること目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 労働安全衛生法や雇用管理等
 - 2) 関係法令と事業所運営
 - 3) 管理業務の基本
 - 4) 管理者としての知識と実際
 - 5) 運営管理相談（意見交換）

【在宅対象】

No.25 訪問介護・サービス提供責任者研修 I～全 2 日間～

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長 霊石 理枝 氏 ほか

1日目：令和 8 年 1 月 10 日（土） 10 時～16 時 仙台市市民活動サポートセンター 4F

2日目：令和 8 年 1 月 11 日（日） 10 時～16 時 仙台市市民活動サポートセンター 4F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（合計 10 時間）
- ② めあて：サービス提供責任者として、訪問介護計画作成に必要な基礎的理解を踏まえ、計画作成の要点や自立支援に向けた計画立案のための知識・技術を身につけることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 訪問介護の基本と運営基準
 - 2) 訪問介護計画の作成
 - 3) 訪問介護計画の展開
 - 4) 評価と実地指導

No.26 訪問介護・サービス提供責任者研修 II～全 2 日間～

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長 霊石 理枝 氏 ほか

1日目：9 月 6 日（土） 10 時～16 時 日立システムズホール

2日目：9 月 7 日（日） 10 時～16 時 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル 5F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（5 時間）
- ② めあて：利用者・家族やホームヘルパーを感染リスクから守り、安心した生活を継続するために、在宅における感染症対策のための基礎的理解と実践のための知識・技術を身につけることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) サービス担当者会議の展開
 - 2) 在宅における医療連携・医学的知識
 - 3) 運営管理（育成指導・苦情対応）

No.27 ホームヘルパー基本講座①

講師：仙台総合医療大学校 吉田 望 氏 ほか

対面日程 A：10月25日（土）10時～13時 特別養護老人ホームまほろばの里向山

対面日程 B：令和8年1月17日（土）13時～16時 仙台総合医療大学校

① 形 式：対面研修 講義・演習（3時間）

② め あ て：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

1) 訪問介護の基礎的理解

2) 介護技術（基本動作中心）

No.28 ホームヘルパー基本講座②

講師：歯科衛生士 片桐 美由紀 氏

対面日程 A：9月19日（金）13時～16時 仙台市市民活動サポートセンター6F

対面日程 B：令和8年1月20日（火）13時～16時 岩沼市中央公民館2F

① 形 式：対面研修 講義・演習（3時間）

② め あ て：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

1) 訪問介護の基礎的理解

2) 介護技術（基本動作中心）

No.29 ホームヘルパー基本講座③

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会

対面日程 A：8月1日（金）10時～12時 仙台市市民活動サポートセンター3F

対面日程 B：12月18日（木）13時30分～15時30分 仙台市市民活動サポートセンター5F

① 形 式：対面研修 講義・演習（2時間）

② め あ て：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

1) 訪問介護の基礎的理解

2) 介護技術（基本動作中心）

【ナイト講座】

No.30 ワークショップ① 人財の活かし方

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

対面日程：9月19日（金）17時～19時 中小企業活性化センター6F

① 形 式：対面研修 講義・演習（2時間）

② め あ て：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

- 1) 訪問介護の基礎的理解
- 2) 介護技術（基本動作中心）

No.31 ワークショップ② 会議・カンファレンスの進め方

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

対面日程：10月17日（金） 17時～19時 エル・パーク仙台5F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（2時間）
- ② めあて：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 訪問介護の基礎的理解
 - 2) 介護技術（基本動作中心）

No.32 ワークショップ③ アセスメント講座①

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

対面日程：11月14日（金） 17時～19時 仙台市市民活動サポートセンター4F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（2時間）
- ② めあて：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 訪問介護の基礎的理解
 - 2) 介護技術（基本動作中心）

No.32 ワークショップ④ アセスメント講座②

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

対面日程：12月4日（木） 17時～19時 仙台市市民活動サポートセンター4F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（2時間）
- ② めあて：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 訪問介護の基礎的理解
 - 2) 介護技術（基本動作中心）

No.33 ワークショップ⑤ レクリエーションを学ぶ

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

対面日程：令和8年1月9日（金） 17時～19時 仙台市市民活動サポートセンター4F

- ① 形式：対面研修 講義・演習（2時間）
- ② めあて：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。
- ③ 主な内容
 - 1) 訪問介護の基礎的理解
 - 2) 介護技術（基本動作中心）

No.34 ワークショップ⑥ 管理者勉強会

講師：株式会社未来企画 執行役員 片山 智美氏

対面日程：令和8年2月12日（木） 17時～19時 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル5F

① 形 式：対面研修 講義・演習（3時間）

② め あ て：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

1) 訪問介護の基礎的理解

2) 介護技術（基本動作中心）

No.35 ワークショップ⑦ 認知症ケアのあれこれ

講師：一般社団法人宮城県介護福祉士会 ほか

対面日程：令和8年3月6日（金） 17時～19時 仙台市市民活動サポートセンター4F

① 形 式：対面研修 講義・演習（3時間）

② め あ て：訪問介護員として必要な知識・技術を学び、基本を身につけることを目的とする。

③ 主な内容

1) 訪問介護の基礎的理解

2) 介護技術（基本動作中心）

☆主な会場所在地（予定含む） ※会場への直接のお問合せはご遠慮ください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・仙台市市民活動サポートセンター | 仙台市青葉区一番町 4-1-3 |
| ・仙台市戦災復興記念館 | 仙台市青葉区大町 2-12-1 |
| ・仙台市総合医療大学校 | 仙台市泉区明通 2-1-1 |
| ・岩沼市民会館・中央公民館 | 岩沼市里の杜 1-2-45 |
| ・マルホンまきあーとテラス | 石巻市開成 1-1 |